

(教材第3号様式)

吉田学術教育振興会
令和6年度 教材活用状況報告書

報告日 令和8年2月5日

公益財団法人吉田学術教育振興会

理事長 山倉修一 殿

| | |
|----------------------------------|--|
| 学校名 | 大牟田市立御木中学校 |
| 報告者 | 学校長 杉野 浩二 (担当 三浦巨樹) (連絡先 TEL : 0944-53-6037) |
| 寄贈品 | ・ Apple 社 アップル TV 4K (6台) ・ レーザー加工機 Podea 社 Ador ダイオードレーザー10W (1台) |
| 活用状況 (使用者、 使用内容、 使用頻度等) | ・ アップルTV 使用者：理科室・音楽室・美術室・技術室など各教室の教科担当者 使用内容：理科室では、小さいものを撮影し、大きく映し出している。 教師実験の様子を大きく映し出している。 考える時間等、残り時間の表字している。 技術室では、前時の振り返りをクイズ形式で行っており、 問題や正解者数を表示している。 美術室では、過去の生徒作品を映し出してい。 使用頻度：各教室で授業があるときには毎時間使用している。 各教室週に10時間程度活用している。 ・ レーザー加工機 使用者：技術科担当、理科担当 使用内容：教材の作成、レーザー加工機のビデオ撮影など 使用頻度：週に1回程度 |
| 申請当初の 目的達成状況 | ・ アップルTVについては、目的を十分に達成している。すでに各教室に無くては ならないものになっている。 ・ レーザー加工機は、教材作成に予想より時間がかかり、加工機の活用が技術科・ 理科以外の教員に広がっていない。 |
| 教育的効果に ついて所見等 | ・ アップルTVについては、大きくカラーで表示したり、クイズ形式を取り入れた りと、生徒からは、とても分かりやすいという声が多く高評価である。 ・ レーザー加工機でのレーザーの仕組みの説明は、できることや危険性など十分 に伝わった。 |

活用状況の写真等（当日の様子など）



左の写真は、技術室の技術科の授業の様子。

アップルTVを用いて、Kahoot!というクイズを出題・回答・集計をしてくれるアプリを大型液晶TVに映し出している。

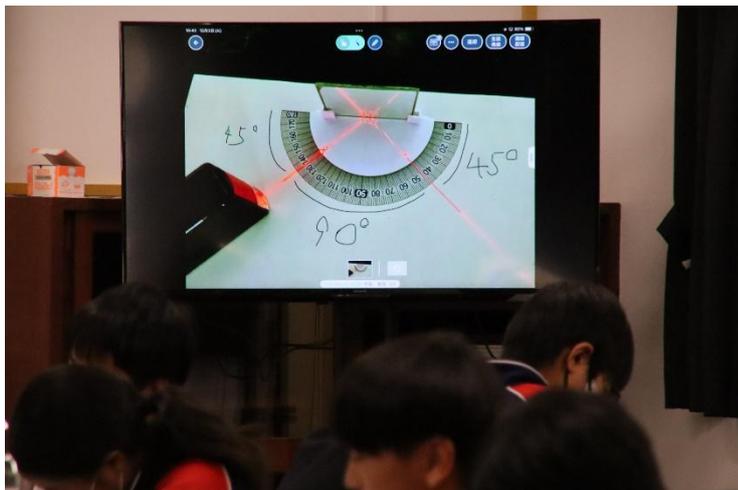
生徒たちは、自分のiPadと大型画面を見ながら、誰が1位なのかなどを確認している。

カラーで表示されていることも、生徒を引き付けている要因としてとても大きいと思われる。

右の写真は、大相撲 呼び出し大将さんに講演に来ていただいたときに、最後に撮影した集合写真です。生徒に囲まれる形で、集合写真の中央に呼び出し大将さんがいらっしゃいます。

講演のときに、どのような仕事をしているのかを動画で説明していただいた。その動画を iPad で再生し、アップルTVを介して、プロジェクターで大きく表示した。

今までであれば、重量のあるパソコンを運んでいたが、軽いアップルTVとiPadの組み合わせで行った。



左の写真は、理科の光の性質についての学習の1場面です。

この日は、鏡を使って反射を調べていました。写真内の大型TVに表示されているのは、生徒がiPadで撮影した写真をロイロノートで先生に送り、送られてきた写真を先生がアップルTVで大きく表示しています。

大きく表示されているので、どのように反射しているのかをみんなで確認することができます。



レーザー加工機を活用し、チャームの制作を行った。左の写真は、サンプルですが、本校キャラクター「みきまる」を配置し、丸や四角、五角形など子どもたちが自由にデザインを考え、レーザー加工機で加工した。

出来上がりは、とても素晴らしいと喜んでいた。どのように加工されたのか、興味深そうに加工機の中を覗いていた。

今回は、特別支援学級の生徒たちと技術の授業に取り組んだ。

今後の活用見通し・課題

アップルTVについては、各教室・体育館など一つずつあることが当たり前になり、生徒への動画や写真を表示したり、体育では自分の動きを確認したりなど、より一層活用していきたい。

レーザー加工機は、普通学級での活用進んでいない。そのため、できること（作品や教材）をたくさん提示するなど、先生方への啓発に課題が残りました。